

各巻ごとの分売可

補巻35

『情報』

(興亜院政務部・大東亜省刊)

全9冊・別冊1

本体価格 各冊 15,000円+税

別冊のみ 1,000円+税

日中戦争からアジア太平洋戦争へと拡大するなか、興亜院政務部および、その後の大東亜省にて編集発行された、主に中国共産党の活動調査・報告に重きをおいた極秘情報誌を復刻！

★十五年戦争極秘資料集全30集の完結後、新たに発見された資料・文書を基に、補巻として刊行。未公表「極秘」文書を、復刻し解説を付して刊行！

十五年戦争 極秘資料集

不二出版

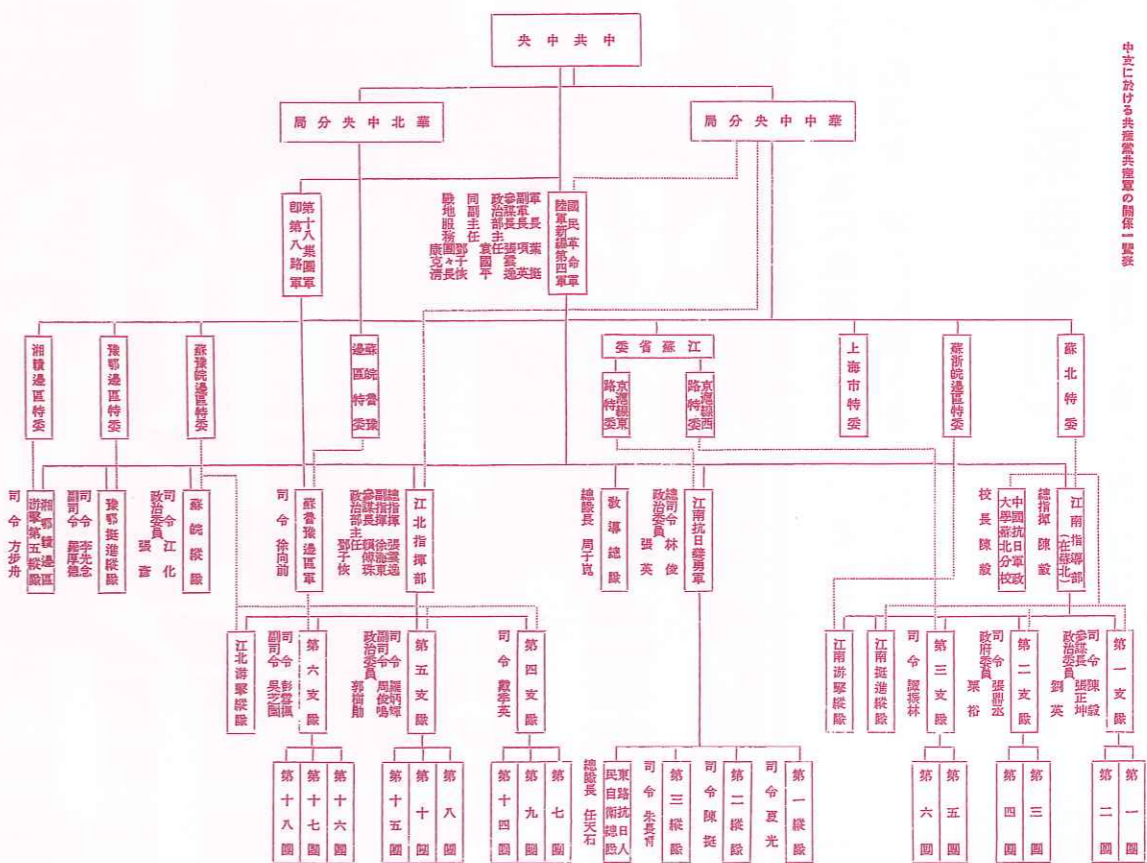
興亜院は、一九三八（昭和十三）年十二月に日本政府によって設置され、日中戦争下で中国国内の日本軍占領地域をどのように支配するか、そのための中国における政治、経済、文化、政策を立案・実施するための機関である。

雑誌『情報』は、一九三九年九月に興亜院政務部より全76号が発行された。その後、日中戦争がアジア太平洋戦争へと進み占領地域が拡大したのに伴い、一九四二年十一月に興亜院や拓務省などを吸収して大東亜省が設置され、同総務局総務課より新たに一九四三年六月から同名の『情報』が発行され、現在一九四五年一月一日発行号まで（全39号）確認されている。

同機関は、情報収集活動の重点を「防共」に置き、同誌に中国各地で発行された各種新聞・雑誌の記事や、各連絡部、現地官庁の情報収集報告していた。特に、中国共産党、辺区、新四軍に関する調査報告が多く収集されている点に特色がある。

小社では、興亜院および大東亜省発行の同誌を、四面付けに編集復刻し、新たに、解説・総目次を付して刊行するものである。

不二出版



中共における共産党共産軍の組織一覽表

●組見本（四面付け・80%縮小していただきます）

昭和十九年六月十五日

情報報

第二六號

極秘

大東亜省

『情報』閣讀者に對する注意

- 一、本誌は職務上利用すべきものを以て異動等の場合は必ず後任者に引継がれるべし。
- 一、本誌には繼續番號及綴連孔附しあるを以て嚴重に綴り合はせ置き常に新舊相關聯して研究に資せらるべし。
- 一、時局緊迫に伴ひ自然極秘記事の輯録増加すべきを以て取扱上嚴に注意すると共に苟も散逸するが如きことなきやう責任を以て保管せらるべし。

（總務局總務課）

目次（六月十五日）

- 軍國國民黨十二中全会（南京昭和十九年五月下旬）……………一
- 『中國の命運』を論ず（翁博感）（上海昭和十九年二月）……………三
- 新民主主義に對する數個の問題（編譯）（北京昭和十九年三月）……………三七
- 支那の内部開争（サザニル・メツファ）……………三五
- 英米の觀た重慶の獨裁化……………五五
- 支那の第七年（エノムスト四・二三）……………五八
- 中共内部各派と統一戦線（上海四・一七）……………六一
- 領江地區新四軍最近の動向（上海昭和十九年四月）……………六七
- 陝甘邊區の移民工作（太原五・四）……………六九
- 物價の波動と經濟政策（前編）（南京四・一九）……………七〇
- 西北開發状況（太原四・一）……………七二
- 新編省志書縣事情（昭和四・一四）……………七三
- 外蒙の新聞發刊企圖（厚和昭和十九年五月中旬）……………七五
- 敵情資料に據る重慶の動向（五）……………七五
- 三十二年度財政重要工作檢討報告——專賣工業化——國民參政會組織條例修正——重慶の一週——協榮培殖地建設——米國援軍會款金額——中國工業聯合保險公司成立——甘肅省の牧草増産——土地固有は平均地權の最終目標——三省兩幹事會の收獲——訪英團員の感想——省政府組織法の修正——重慶加泰院新條約締結……………七九
- 重慶雜報……………七九
- 國民黨入黨申請黨員募集方法——國共會議調和發表——憲政問題と中共——最近の國共關係——孔祥熙の財政談——ワオリス重慶訪問（續報）——重慶の對米長訴——ボンド借款の由來と用途——『日本外交の隱憂』（柱本公親執筆）——延安觀察團出發——新編省志書縣事情——新編省志への移民——兵役法改訂——軍中文化充實——支那學生入學拒絕——重慶陸路強化を叫ぶ——重慶印度新航空路——重慶西陵間公路開設——重慶油化公路の重要性——重慶五原間バス開通——新公路計劃……………九六
- 敵側の印緬鐵道會議（アンカラ昭和十九年五月上旬）……………九六
- 最近のデリー泰語放送（曼谷昭和十九年五月中旬）……………九六

<p>① 毒ガス戦教育関係資料 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1031-0 18,000円</p>	<p>⑪ 二反長音蔵・アヘン関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1041-8 8,500円</p>	<p>⑳ ベンゾイン不正輸入事件関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1430-8 8,500円</p>	<p>㉑ 大同保育隊報告 藤野 豊 編・解説 ISBN978-4-8350-6243-3 15,000円</p>
<p>② 毒ガス戦関係資料II 吉見義明・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1032-9 18,000円</p>	<p>⑫ 東亜諸民族の死亡に関する衛生統計的調査 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1042-6 12,000円</p>	<p>㉒ 終戦後の法令制定・改正・廃止経過一覽 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1431-6 6,800円</p>	<p>㉓ 戦場心理の研究 全4冊 岡田靖雄 解説 ISBN978-4-8350-6244-0 32,000円</p>
<p>③ 思想彙報II 荻野富士夫 編・解説 ISBN4-8350-1033-7 15,000円</p>	<p>⑬ 関東軍参謀部作成総動員関係調査資料 永島勝介・安富 歩 編・解題 ISBN4-8350-1043-4 8,500円</p>	<p>㉔ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1 常石敬一 解説 全9冊揃 ISBN4-8350-5375-3 191,000円</p>	<p>㉕ 満洲事变日誌記録 全3冊 芳井研一 解説 全3冊揃 ISBN978-4-8350-6249-5 36,000円</p>
<p>④ 戦時下国民栄養の現況調査報告書(昭和18年) 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1034-5 15,000円</p>	<p>⑭ 軍律法廷審判例集 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1044-2 8,500円</p>	<p>㉖ 山東出兵時における「第三師団特種研究記事」 福島幸宏 編・解説 ISBN4-8350-4750-8 28,000円</p>	<p>㉗ 「合作社事件」関係資料 全2冊 「合作社事件」研究論解説 全2冊揃 ISBN978-4-8350-6233-2 40,000円</p>
<p>⑤ 第二次上海事変における第九師団軍医部「陣中日誌」 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1035-3 18,000円</p>	<p>⑮ 南方方面海軍資料 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1045-0 9,500円</p>	<p>㉘ 宣撫月報 全8冊・別冊1 山本武利 解説 全9冊揃 ISBN4-8350-5645-0 145,000円</p>	<p>㉙ 情報 全9冊・別冊1 三好 章 解題 全10冊揃 ISBN978-4-8350-6256-3 139,000円</p>
<p>⑥ 廬溝橋事件期支那駐屯憲兵隊 重松関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1036-1 9,000円</p>	<p>⑯ 陸軍に於ける花柳病 早川紀代 編・解説 ISBN4-8350-1425-1 9,500円</p>	<p>㉚ 五・二五事件期憲兵司令部関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-5655-8 12,000円</p>	<p>以後新資料発見次第、逐次刊行予定</p>
<p>⑦ 韓国併合始末 関係資料 海野福寿 編・解説 ISBN4-8350-1037-X 9,500円</p>	<p>⑰ 毒ガス戦教育関係資料II 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1426-X 8,500円</p>	<p>㉛ 関東軍化学部・毒ガス戦教育演習関係資料 松村高夫・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-5656-6 20,000円</p>	
<p>⑧ 軍隊警察の対立と憲兵司令部 重松関係文書II 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1038-8 9,000円</p>	<p>⑱ 十五年戦争末期国内憲兵分遣隊報告 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1427-8 9,000円</p>	<p>㉜ 資料集成 戦争と障害者(第一期) 全7冊 清水 寛 編 全7冊揃 ISBN978-4-8350-5759-3 140,000円</p>	
<p>⑨ 南方地域現地自活教本 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1039-6 8,500円</p>	<p>⑲ 日本占領下上海における日中要人インタビューの記録 高橋博文 編・解説 ISBN4-8350-1428-6 9,500円</p>	<p>㉝ 陸軍省「調査彙報」全5冊・別冊1 松野誠也 編・解説 全6冊揃 ISBN978-4-8350-5834-4 79,000円</p>	
<p>⑩ 戦後の皇軍 重松憲兵少佐綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1040-X 9,000円</p>	<p>㉚ 満洲国軍ノ現況 松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1429-4 18,000円</p>	<p>㉞ 外邦測量沿革史 草稿 全4冊・別冊1 小林 茂 解説 全5冊揃 ISBN978-4-8350-6237-2 113,000円</p>	

『情報』復刻に寄せて

——本庄比佐子（東洋文庫研究員）

日中戦争期に中国での占領地行政を統括・推進するべく政府に設置された興亜院が発行した主要定期刊行物に『情報』と『調査月報』の二誌があった。『調査月報』が中国の経済・産業関係を中心とした各種実態調査の報告書を主に掲載したのに対し、『情報』は重慶国民政府や国民党、共産党、汪精衛政権の動向に関する政治・軍事関係の情報を多く収めるものであった。そこには各種新聞雑誌からの翻訳資料が多く、なかでは、とりわけ利用できる関連資料が少なかった時期に、中共関係の資料に利用価値を見出すことが多かったと思う。

しかしながら、『情報』の資料的価値はその点にだけあるのではない。同誌の表紙裏に「新聞雑誌よりの資料抽出に限定せず、現地報告も採録する」とあるように、占領地に設置された華北・華中・厦門・蒙疆各連絡部から本院へ届いた現地報告やいくつかの現地情報をまとめた報告もある。それらの情報や情報分析がどの程度まで正確であったのかを検証し、さらには政策との関連をも検討することを通して、情報収集活動の果たした役割が見えてくるのではないだろうか。当時の日本の対中認識、対中政策を検討するうえで、『情報』が有用な資料の一つとして利用されることを望むものである。

「興亜院・大東亜省の 対外情報収集能力を示す」

——森 久男（愛知大学経済学部教授）

一九三八年末に設立された興亜院は、日本政府の対中国政策・占領地統治政策を管掌する統括機関である。日中戦争から太平洋戦争の時期にかけて、興亜院政務部（のち、大東亜省）は、日本軍支配下の占領地経営に携わる実務家の職務参考用の内部資料として、『情報』と題する雑誌を刊行していた。その情報源は、おもに中国で刊行された新聞・雑誌の記事を中心として、さらに外国語放送の摘録、独自の調査報告等が収録されている。

『情報』に収録された記事の中で分量的に多いのは、汪兆銘政権の動向、重慶国民政府関係情報、中国共産党関係情報であるが、西北地域・外モンゴル・ソ連・アメリカ等の周辺情報も紹介されている。その編集姿勢は、特定の政治的宣伝を目的とするのではなく、中国を中心とした最新の敵側資料をそのまま翻訳し、行政執務上の判断の素材として速報する点にある。今回不二出版の手で復刻された『情報』には、日本軍による中国占領地統治を前にして、日本に敵対する諸勢力が当時の状況認識に基づいて作成した各種資料が数多く収録されている。近年、日中戦争史研究は飛躍的に研究範囲の広がりを見せ、その全体的総括が求められているが、本誌に収録された豊富な各種情報を参照することによって、さらに複眼的視角による研究内容の深化に寄与するものと思われる。各方面に推薦したい。

『情報』（興亜院政務部・大東亜省刊）全9冊・別冊1——概要

体裁——B4判・上製・函入・四面付・総3、000頁

収録——『情報』（興亜院政務部刊）1939（昭和14）年9月1日～1942（昭和17）年10月15日
〔全76号・A5判・並製・原本総7、590頁〕第1冊～第6冊に収録

『情報』（大東亜省刊）1943（昭和18）年6月1日～1945（昭和20）年1月1日
〔全39号・A5判・並製・原本総4、354頁〕第7冊～第9冊に収録

別冊——解題・三好 章（愛知大学現代中国学教授・総目次）

（第1冊配本時に刊行、A5判・並製）

*別冊のみ分売可||本体価格1,000円+税
ISBN978-4-8350-6266-2

推薦——本庄比佐子（東洋文庫研究員）、森 久男（愛知大学経済学部教授）

原本——愛知大学豊橋図書館・国立国会図書館・東洋文庫・
提供——東京大学大学院情報学環図書室

第1回配本||第1冊（10年1月）本体価格16,000円+税
ISBN978-4-8350-6257-0
十別冊

第2回配本||第2冊（10年2月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6258-7

第3回配本||第3冊（10年4月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6259-4

第4回配本||第4冊（10年5月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6260-0

第5回配本||第5冊（10年6月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6261-7

第6回配本||第6冊（10年7月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6262-4

第7回配本||第7冊（10年9月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6263-1

第8回配本||第8冊（10年10月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6264-8

第9回配本||第9冊（10年11月）本体価格15,000円+税
ISBN978-4-8350-6265-5

揃価——全9冊・別冊1——139,000円+税

●既刊図書〔復刻版〕のご案内

鹿地亘資料調査刊行会 編

日本人民反戦同盟資料

全12巻・別巻1

日中戦争期に敢えて中国側に投じ、日本人兵士の反戦運動を組織し、指導した鹿地亘の残した資料の集大成。反戦運動に参加した兵士の手紙、鹿地亘の周辺にいた中国人文学者の手紙など、これまで未整理、未発表の資料を多数収録。日本の戦争に反対し、生命をかけて反戦のために闘った日本人の貴重な反戦闘争の記録として、研究者必備の資料である。なお、別巻として、全収録資料の総目次、関連年表、解題・解説を付す。
●推薦||犬丸義一・大江志乃夫・藤原彰・小島晋治
・丸山昇・王曉秋

●A4判・上製・総4,900頁

別巻||解題・解説（井上 學）・総目次・関連年表
（別巻のみ分売可||本体価格35,000円+税）

●揃定価455,000円+税



表示価格は全て税別

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘一丁目二
TEL 03-3811-4433
FAX 03-3811-4464
振替 00160-194084